

第14回四万十源流

広見川上り駅伝大会



今年で14回目を迎える四万十源流・広見川上り駅伝大会が8月8日、三島地区で開催されました。

今年は、千葉、大阪、熊本、岡山、香川など、県外からの参加者も増え、駅伝の部が昨年より10チーム多い35チーム、鉄人の部が13人、総勢297人の参加がありました。

開会式では、甲岡鬼北町長が「猛暑が続いているが、選手の皆さんには暑さを吹き飛ばす水の清涼感と、川の恩恵を体いっぱい感じながら、チームの名誉のため、自分自身のため、そして仲間と喜びを分かち合うためにも、広見川の激流に果敢に挑戦していただきたい」とあいさつ。また、参加選手を代表して、昨年の優勝チーム寿吉らんらんクラブの有光浩選手が「滑っても転んでも最後まで諦めることなく、清流広見川に感謝をしつつ走りきることを誓います」と力強く宣誓しました。

沿道で応援する方々が見守る